

ふらぐ

この世界には
ロマンがある

マンガ
第2話!!

¥40
TAKE FREE

筋肉パノパ!
は
好かれたい!!

地域の

目指すのは
役に立つお父さん!?

目からの
うろこ

海の環境を守り、育て、
次の世代に引き継ぐために

3種から選べる
ブルガリアギフト

引換券が
当たる!!

詳しくはウラ面を
ご覧下さい。

▼ひととまちとの交差点Vol.14
ふらぐニュース

筋肉パパは 好かれたい!!



第2話

目指すのは“役に立つ”お父さん!?

地域の

ママー

宗像市の歴史を
調べる宿題が出てさあ

どうやって
調べたらいいかな

負けない
負けない

ごめん
ムッ

よし!!
パパが連れてってあげよう

そそきた!!

へーっ
いいかも
行く行く

ママ

宗像大社で
こんなイベント
してるみたいよ

宗像大社
ワークスポット
めぐり

ずい

お隣の
さくらちゃんと
行ってきたら

キャラクター
紹介



久原すなお…娘に好かれたい
元気なお父さん。筋トレが好き。



久原メイ…最近父親がうざったい中学
1年生。お隣のさくらちゃんと仲良し。



ママ…影は薄いが
キャラは濃ゆそう。

ワシじゃ
ワシ!!

…久原くん!!

宗像大社

さすが
ガイドさん!
わかりやすかった
なあ

宗像に
そんな歴史が
あったとは…

元々は
「海上の安全」を
祈願する神様
じゃったんじやよ

今は
「交通安全の神様」
として
有名じゃが

ハッハッ!!
意外と気がつかない
もんじやない!!

ムッキ
ムッキ

ジム友
ゼウス(仮)さん

ゼ…
ゼウスさん!!

オー
ちがう

NPOセンター インフォメーション

宗像歴史観光 ボランティアの会

2006年に結成。海の道むなかた館を拠点として、宗像大社や鎮国寺を中心に市内で広くガイドを行っている。観光ガイド養成講座を修了した会員は90名を超え、歴史調査活動や観光協会の事業協力など幅広く活動を行っている。



活動の詳細や
ガイドの依頼は
ホームページを
ご覧ください。



地域体験プログラム 【ロープレむなかた2021】 開催します

[Local×Play=ロープレ]は、地域で行われているさまざまな団体の活動を体験できるプログラムで、今年で6年目を迎えます。プログラムを通して“宗像”という地域の魅力を再発見してみませんか？プログラムの詳細はPENTAGONのホームページをご確認ください。



体験プログラムの
詳細は
こちらから



問合せ先

宗像市 市民活動・NPOセンター
[運営] 一般社団法人 PENTAGON
TEL: 0940-36-0311 (平日9:00~17:00)
MAIL: info@pentagon67.com



ひとまち交差点



ふらぐ編集部
アンドウ

宗像のまちで秘かに活動する魅力的な人。
その「ひと」が「まち」と出会い、交わるきっかけを、
ふらぐ編集部のアンドウが取材してきました。

好奇心旺盛で、やりたいと思ったことは何でも

チャレンジしてきたという手塚さん。自分が住んでいるまち「宗像」を知るところから始まった手塚さんのボランティア活動についてお話を伺いました。

アンドウ：手塚さんが宗像で地域と関わるようになったきっかけを教えてください。

手塚さん：9年前に私の母が倒れ、介護が必要になりました。デイケアやデイサービス、病院の方など、本当に多くの人にお世話になって。その経験から、「していただくばかりじゃなくて自分も何か社会にお返ししたい」という想いが芽生え始めました。その頃から、地域のボランティア活動に目が向くようになっていったんです。

アンドウ：そうだったんですね。まずは、何から始められたのでしょうか？

手塚さん：私は小学校入学前に宗像を離れ、30代になって主人の転勤で戻ってきました。だから、宗像生まれなのにこのまちのことをよく知らないことに気づいて。まずは宗像のことを「もつと知りたい」と思ったんです。それから、市の広報紙（むなかたタウンプレス）に掲載されているありとあらゆる地域イベントに参加しました。自分のこれからの活動のヒントやきっかけがもらえたらいいなと思って。参加すればするほど、人間関係も広がるし、ひとつ知るとひとつ、また次が知りたく

なる。どんどん楽しくなっていました。

アンドウ：NPOセンター主催の「ロープレむなかた2018」にも参加してくださいましたよね。

手塚さん：はい、ほぼ全てのイベントに参加しましたね。ロープレは、団体の活動を間近で見ることができて、活動に対する想いを団体メンバーから直接聴くこともできる。どのイベントもとても楽しくて。今でも当時のことを鮮明に覚えています。特に「宗像里山の会」さんの里山保全活動のイベントで、みなさんと一緒に食べたあのお弁当の味、あの一体感は忘れられません。ロープレに参加したことで「自分も活動を始めたい」という想いが一気にふくらみました。

アンドウ：そして、2019年から「宗像歴史観光ボランティアの会」のメンバーとして活動を始められたんですね。

手塚さん：はい。先輩のサブガイドから始まり、少しずつ経験を積んで、1年後には1人で有料観光ガイドができるようになりました。私たちのガイドでお客様が満足して笑顔で帰っていく。その時が一番やりがいを感じます。先輩方からは、ありきたりのガイドじゃなくお客様に合わせたガイドができるよう「自分の引き出しを持ちなさい」といわれています。人の幅もガイドの幅も広がるからと。だから、常にアンテナを立てて、ガイドに取り入れられそうなものはど

手塚 智子さん

3つのボランティア団体に所属



幼い頃に宗像を離れ、ご主人の転勤を機に30代のとき宗像に戻る。その後、地域のイベントに積極的に参加し、2019年より市民活動団体のメンバーとして活動を始める。現在は「宗像歴史観光ボランティアの会」「宗像市食生活改善推進会」「宗像植物友の会」に所属。

んどん学んでいきたいと考えています。

アンドウ：手塚さんのこれからの活動に対する意気込みを教えてください。

手塚さん：私は植物が好きなので、観光ガイドに植物の情報を織り交ぜて、私らしい私にしかできないガイドがしたいなと思っています。ボランティアつて「楽しい」って気持ちのが本場に大事。先輩方からも「ガイドを楽しみなさい」と教わりました。やらなきゃいけないからやるんじゃないって、自分が楽しいからやる。やりたいことはまだまだたくさんあるので、これからもどんどん飛び込んで挑戦し続けます。

“あなたにとつての交差点は、どこですか？”

“宗像を知って、体験して、いっぽ踏み出したこと”



宗像歴史観光ボランティアの会



地域イベントへ積極的に参加（蕎麦教室）



薬膳茶で活動のための健康な体づくり

日本の漁業と海洋ごみ問題

宗像市の歴史は海との関係性が深い。文化的発展の入口となった海は今や、宗像に住む人々にとってまちのシンボルと言っても過言ではない。世界遺産に登録された神宿る島を尊び、歴史を紡いできた宗像の海を、太古の昔から第一線で守ってきたのは宗像海人族であり、現在の漁師たちだ。西に玄界灘、東に響灘を望み、全国でも有数の水揚げを誇る鐘崎漁港は豊かな水産資源に恵まれており、全国から人が訪れる道の駅むなかに、はそこでとれた新鮮な魚が並ぶ。しかし今、漁師や日本の漁業そのものは存続の危機に晒されている。

「気候変動による海洋変化、外国漁船との競合、乱獲などで漁獲量が減少していることに加え、日本人の魚離れが進んでいます。また流通の過程では売れ残りの廃棄処理費用を上乗せして販売されることもあるため、魚本体はかなり安く買い叩かれてしまう場合もあります。『とれない・売れない・安い』という負のスパイラルの結果、沿岸漁業の漁師の平均所得は200万円を下回っています」。こう話すのは（一社）Sea+SonS（以下、シーソンス）の代表で、漁師の権田幸祐さんだ。

海の環境を守り、育て、次の世代に引き継ぐために

食卓に新鮮な魚が並ぶ光景は、近い未来当たり前でなくなるかもしれない。海や漁業そのものは今、私たちの予想を超えて危機的な状況に陥っている。海を生業とする当事者と、漁業や海洋汚染に危機意識をもつ個人で決起したシーソンスに話を伺った。



ふらぐ編集部
しぎよう

水産資源が減る一方で増え続けているものがある。海洋ごみだ。世界中では毎年800万トンのごみが海に流出しており、2050年には海洋ごみの総量が魚よりも多くなると言われている（※1）。その現場を一番身近で目の当たりにしているのもまた、海を生業とする漁師たちである。「漁で引き上げる水揚げ用の網には、魚と絡に大量のごみが引つかつてきます。海岸に漂着したごみはその地域の自治体が処理してくれませんが、海に漂流するごみはどこかの地域のものでもないため、回収した本人が処理費用を負担しなければいけないケースもあります。ただでさえ水揚げ量が減っているのに、ごみ処理費用まで負担するのは大変です」。国が漂流ごみの回収事業を実施した際、鐘崎の船団が回収したごみは数十トンにもなった。海洋ごみ回収の予算が削減されつつある今、ごみは岸に漂着して回収されるまで海を漂い続けている。

※1 海洋ごみ：漂着ごみ、漂流ごみ、海底ごみの総称。出典：WWF ジャパン ウェブサイトより

シーソンスの発足

権田さんは先祖代々続く漁師の家の長男として生まれ、父と祖父の背中を見て育った。18歳のとき自らの意思で漁師の道を選んだが、漁業の厳しい現状を実感するのに時間はかからなかつた。

た。日本の漁業・養殖業生産量は1984年にピークを迎え、1990年ごろに急速に減少、現在はピーク時の4割を下回るほど深刻である。「排他的経済水域や海洋環境の悪化など、どうしようもない原因もありますが、何かできることはあるはずだと、これまで仲間とさまざまな活動を行ってきました。料理教室を開いて魚の調理啓発を行ったり、漁協全体では水産資源を育てるために漁を自粛し、その時間で海洋ごみの回収を行ったりもしました。また新聞や情報紙のコラム欄で筆をとり、講演会では漁業の厳しい現実を訴えてきました。けれど、このままでは未来に豊かな海は残せないと何度も挫折を味わいました」。

活動を続ける中、2015年に国連でSDGs（持続可能な開発目標）が掲げられ、2017年には「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産に登録された。2014年から毎年宗像で開催されている国際環境会議では権田さん自身も登壇する機会が得られ、同じ目線で問題意識をもつ漁業従事者以外の繋がりも次第に増えていった。「今までやってきたこと、多様な人との繋がり、SDGsによる世界的な追い風：時は満ちたと感じました。そして



拾ったプラスチックごみを分別



船団が回収した大量の海洋ごみ

プロフィール 一般社団法人Sea+SonS

持続可能な漁業の推進と海洋環境の保全を行うことにより、「海と人の発展的な共存を達成すること」を目指している。漁師・海女・料理人・デザイナーという異業種メンバーで構成。



◎一般社団法人
Sea+SonS



◎権田さんコラム
「宗像海人航海日誌」



2021年7月、正式にシーソングズを発足しました。環境会議で決まった方針を今まで以上に実行していく必要もあります。法人化して組織としての基盤を固め、協力してくれる企業と一緒

に大きな活動の波を起こしていきたいと思います」と権田さんは意気込みを語る。

シーソングズは海を生業とする漁師と海女の他、「食」全般のプロデュースを行う料理人とグラフィックデザイナーという異色なメンバーで構成されている。皆それぞれ海洋環境や水産業に危機意識を持ち、何かしらの活動を行ってきた者たちである。「海と人の発展的な共存」を目的に掲げ、権田さんを筆頭に、それぞれ独自の視点や技術を持ち寄って活動の準備を行っている。

組織が目指す未来

シーソングズが目指す未来について伺った。「トレーサビリティ(※2)の仕組みを作りたいと思っています。その魚がいつ、どこで、誰によつてとられたものなのかを明確にすることで、『環境に配慮した漁師がとった魚である』ということ消費者に知ってもらい、その魚を購入することで僕たちの活動を直接応援してもらいたいんです。消費者でも海の環境保全を身近に感じ、誰もが簡単に行動を起こせるような環境を作っていくことも大事なことで考えています」。

また海洋ごみを回収する漁師に日当を払う仕組みを作りたいと権田さんは語る。「漁師は効果的に海洋ごみを回収できる特性を持っています。環境保全を推進する企業とタッグを組んで、海を掃除することを仕事にしていくのが理想です。またクラウドファンディングも行っているの

を実現するための課題は山積みですが、使命感をもつて前に進むだけです」。イオン九州のCMにも出演したシーソングズ、彼らの活動に賛同する企業も少しずつ出てきており、これからの活動から目が離せない。

※2 トレーサビリティ：物品の流通経路を生産段階から最終消費段階あるいは廃棄段階まで追跡が可能な状態をいう。

わたしたちができること

宗像が誇る海や漁業の歴史が危機的である：という現実を知ったところで、一市民である私たちに何ができるのか、どう行動を起こせばいいのかわからない点が環境保全活動の難しいところだ。これについて権田さんは「季節のものや旬の食材を知ることから始めてほしい」と話す。「地元的一次産業従事者は漁業にしても農業にしても林業にしても、その土地を守り、その土地と共存してきた存在です。その方々の仕事はそのまま環境改善に繋がっている部分もあるので、まずはそこを応援する意味でも、地元のものを選んで購入することから始めてみてはどうでしょう」。

シーソングズは不定期で海岸清掃も行っている。ごみの回収後の分別では何がどれくらい回収されたのかまで知ることができるので、海洋ごみ問題がより身近に感じられるだろう。清掃日はシーソングズのウェブサイトで告知されるので、興味のある人はチェックしてみてください。

Furagu News

サークル

CIRCLむなかた井戸端会議Vol.1

テーマ

子どもの教育のいまとこれから

「CIRCL」はテーマに応じたゲストの話をもとに少人数単位の車座で意見交換を重ねていく現代版井戸端会議です。

- ◎開催日：12月8日(水)18:30~20:30
- ◎場所：メイトム宗像 結工房
- ◎対象：宗像市在住、もしくは仕事で宗像に関わる人
- ◎定員：先着20人

申し込みはこちら



アンケートプレゼントコーナー

3種から選べるブルガリアギフト引換券をプレゼント!

右記QRコードからアンケートに答えていただいた人にプレゼント! アンケート画面でご希望の商品を選択ください。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。当選者の発表は2021年12月下旬、賞品引換券の発送をもって代えさせていただきます。

引き換えはグローバルアリーナ内(宗像市吉留46-1)クラブハウスまでお越しください。

※賞品引換の有効期限が2022年2月28日(月)までとなっております。ご了承ください。

No.1/2名様

ブルガリアウッドトレー
ローズバスソルト(2個)
ローズハンドソープ(2個)

No.2/1名様

ローズバスソルト
ローズハンドソープ

No.3/2名様

ブルガリア
オーガニックハニー
(はちみつ)350g

応募締切は2021年12月15日(水)
アンケートはこちら!!



¥0 TAKE FREE



PENTAGON 宗像

<https://pentagon67.com>

ふらぐバックナンバーはこちらから!

